

オール水性錆止め工法

SK水性サビガード工法



ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

特長

● 環境意識が高まる今日、さび止め塗料も新築を始め、特に塗り替え市場において水性化が強く望まれるようになってきています。
● この『SK水性サビガード工法』は、特殊変性アクリル樹脂と無公害型特殊防錆顔料により、金属素地や各種旧塗膜に対して高い密着性と優れた防食性を示す下塗材【SK水性サビガード下塗材】と、高耐候性を有する上塗材【SK水性サビガード上塗材Si】【SK水性サビガード上塗材U】及び内装専用（低VOC）の上塗材【SK水性サビガード上塗材A】を組み合わせた、安全で防食性に優れ、環境に優しいオール水性さび止め工法です。

● オール水性仕様で、環境に優しい ●

● 専用の水性上塗材を使用することによりオール水性仕様が可能になります。また、本工法に使用する下塗材、上塗材ともに有害なクロムや鉛を含まないため、無公害で環境に優しいさび止め工法です。

● 優れた防食性 ●

● 下塗材は特殊変性アクリル樹脂の密着性と特殊防錆顔料の相乗効果により優れた防食性を示します。

● 塗替え適性 ●

● 水性塗料なので下地を侵す心配がありません。このため、塗り替えにも適しています。

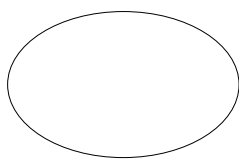
● 平滑性と仕上がり感 ●

● 刷毛やローラーによる作業性に優れ、平滑で滑らかな塗膜を形成します。

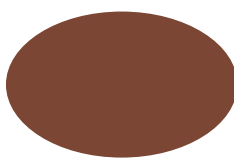
標準色

(対象:SK水性サビガード下塗材)

見本は印刷の為、実物とは異なる場合があります。



シロ



アカサビ
(F07-40P) 近似



グレー
(FN-70) 近似



クリーム
(F25-85D) 近似

 **エスケー化研**

() は日本塗料工業会発行の塗料用標準色番号です。

オール水性さび止め工法

SK水性サビガード工法

標準施工仕様

Standard Application Specifications

●共通工程

(20℃、65%RH)

工 程		材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
						工程内	工程間	最終養生	
下 地 調 整		●被塗装物のミルスケール、ほこり、油脂分、余分な水分等を除去し、清浄にしてください。 ●さびや浮き塗膜、粉化物は、サンドペーパーやディスクサンダー等により十分に除去してください。							－
1	下塗り	SK 水性 サビガード 下塗材	100	0.12~0.15	1	－	3以上	－	ローラー、刷毛、 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
		清 水	0~10	－					
2	上塗り	SK 水性 サビガード 上塗材 Si	100	0.24~0.30	2	2以上	－	24以上	ローラー、刷毛、 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
		清 水	0~20	－					
2'	上塗り	SK 水性 サビガード 上塗材 U	100	0.24~0.30	2	2以上	－	24以上	ローラー、刷毛、 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
		清 水	0~20	－					
2''	上塗り	SK 水性 サビガード 上塗材 A	100	0.24~0.30	2	2以上	－	24以上	ローラー、刷毛、 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
		清 水	0~20	－					

●荷 姿

材料名	入目
SK水性サビガード下塗材	4kg缶・16kg石油缶(標準塗坪:26~33m ² /4kg缶, 106~133m ² /16kg缶)
SK水性サビガード上塗材Si(艶有り、3分艶)	4kg缶・16kg石油缶(標準塗坪:13~16m ² /4kg缶, 53~66m ² /16kg缶)
SK水性サビガード上塗材U(艶有り、3分艶)	4kg缶・16kg石油缶(標準塗坪:13~16m ² /4kg缶, 53~66m ² /16kg缶)
SK水性サビガード上塗材A(艶有り、3分艶)	4kg缶・16kg石油缶(標準塗坪:13~16m ² /4kg缶, 53~66m ² /16kg缶)

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

●危険情報と安全対策

ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。また、MSDS(製品安全データシート)もご参照ください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

●用 途

建築物内部、準外部の金属部※
(建屋鉄骨、鉄扉、門扉、手すり、架台、軽量鉄骨等)

※SK水性サビガード上塗材Aは内装専用です。SK水性サビガード上塗材U、Siは準外部(雨が常にかからない外部)に使用できます。

●適用下地

各金属下地(鉄、亜鉛めっき鋼など)
鉄部の各種旧塗膜
(OP、フタル酸、塩化ゴム、アクリルラッカー等。ただし、
活膜の場合は目粗しが必要です。)



エスケー化研株式会社

本 社 大阪府茨木市中穂橋3-5-25 ☎072-621-7733
東 京 支 社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 東京支店 ☎03-3204-6601 埼玉支店 ☎048-886-2391 名古屋支店 ☎052-561-7712 広島支店 ☎082-278-4951
仙台支店 ☎022-259-2431 千葉支店 ☎043-304-0411 横浜支店 ☎045-820-2400 大阪支店 ☎072-621-7721 福岡支店 ☎092-629-3427

旭川営業所 ☎0166-51-8094 東京営業所 ☎03-3204-6601 静岡営業所 ☎054-284-1877 大阪生野開発所 ☎072-621-7747 福岡営業所 ☎092-622-5561
青森営業所 ☎017-762-3855 東京生野開発所 ☎03-3204-6602 浜松営業所 ☎053-462-7021 南大阪営業所 ☎072-253-1910 福岡生野開発所 ☎092-622-5562
盛岡営業所 ☎019-654-8380 東京開発本部 ☎03-3204-6603 三河営業所 ☎0564-28-1614 神戸営業所 ☎078-671-0451 大分出張所 ☎097-523-2861
郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉生野開発所 ☎043-304-0413 北陸営業所 ☎076-266-1041 姫路出張所 ☎0792-33-7371 長崎営業所 ☎095-887-0871
新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-2391 名古屋営業所 ☎052-561-7712 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5650
前橋営業所 ☎027-265-4100 埼玉生野開発所 ☎048-686-2391 名古屋生野開発所 ☎052-561-7712 血殿生野開発所 ☎082-278-4951 宮崎出張所 ☎0985-61-7779
長野営業所 ☎026-239-6210 岐阜営業所 ☎056-273-1981 山口営業所 ☎083-924-7575 鹿児島営業所 ☎099-284-5321
松本出張所 ☎0263-40-3644 三重営業所 ☎059-236-5101 高松営業所 ☎087-865-5411 沖縄営業所 ☎098-862-5041
水戸営業所 ☎029-251-6515 横浜生野開発所 ☎045-820-5525 京都営業所 ☎075-646-3967 松山出張所 ☎089-968-7240
宇都宮営業所 ☎028-633-9721 厚木営業所 ☎046-294-3666 大阪営業所 ☎072-621-7722 北九州営業所 ☎093-821-8505

大利税工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

●施工上の注意点

- ①下地調整
 - ・下地調整は、さび止め塗装工事の耐久性を高める重要な工程となりますので、入念な処理を行ってください。
 - ・下地の種類によっては施工できないものもあります。詳しくはもよりの各営業所までお問い合わせください。
- ②清水による希釈率

種 類	刷毛・ローラー	エアレススプレーガン
SK水性サビガード下塗材希釈率(%)	0~5	5~10
SK水性サビガード上塗材希釈率(%)	0~10	10~20

※過剰希釈は付着力や性能低下の原因になりますので、絶対に行なわないでください。

- ③施工環境
 - ・温度が5℃以下や湿度が85%以上の時、または結露が生じる時の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。
 - ・降雨、降雪、強風時の施工は避けてください。
- ④その他
 - ・さびの著しい部位は、ケレン除去後、補修塗りを行ってください。
 - ・塗膜の膨れ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
 - ・材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
 - ・塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
 - ・低温または高温時には乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
 - ・補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、若干の色相差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
 - ・刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りや仕上がりや肌の違いによる若干の色相差を生じることがあります。
 - ・艶調整品(艶有り以外3分艶)は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際のつやと若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で艶ムラを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
 - ・濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
 - ・上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
 - ・最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去して下さい。なお、シミが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
 - ・陶磁器・タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異常を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行なってください。

エスケー化研のインターネット・ホームページ
<http://www.sk-kaken.co.jp>

特約販売店